★AALA ニューズ 227 号　2026 年 11 月 21 日（土曜日）

米･露･中首脳による平和に向けた宣言

2026 年 11 月 19 日

2026 年 11 月 19 日、ドナルド・J・トランプ米国大統領、ウラジーミル・プーチンロシア連邦大統領、および習近平中華人民共和国国家主席は、深圳において会談した。米国およびロシアの首脳は、この歴史的な三者首脳会談を主催した中国に対し謝意を表明した。 三首脳は現在の国際情勢について踏み込んだ意見交換を行い、戦略的安定性および国際安全保障を維持することへのコミットメントを表明した。

１，国連安全保障理事会の常任理事国として、米国、ロシア、中国は、国際連合が地球規模の課題により効果的に対応し、国際平和および安全の維持という本来の使命に適合できるよう、国連改革に取り組むことを約束した。

２，三国は、すべての国々の利益のために、精製石油製品の生産および供給を拡大する計画である。また、安定したエネルギー供給の重要性をあらためて確認した。

３，三首脳は、国家の同意原則および国家公務員の免責尊重が極めて重要であることを認識し、国際刑事裁判所（ICC）およびこれに類似する機関は、その管轄権を濫用してはならないとの認識で一致した。

４，三首脳は、「核戦争に勝者はなく、決して戦われてはならない」という原則を再確認した。 三国は、核リスクの低減および核兵器拡散防止に関する対話を実施する。

ホワイトハウスのウェブサイトに掲載されている「U.S.-Russia-China Heads of State Declaration toward Peace」の翻訳。

U.S.-Russia-China Heads of State Declaration toward Peace – The White House